

事務事業名		飲食・タクシー業消費喚起支援事業		所属部	産業観光部	所属課	商工振興課	
総合計画体系	政策名	〈V〉挑戦し活力を産みだすまち〈産業〉		所属G	地域産業支援G	課長名	宮川 勉	
	施策名	〈37〉商工業の振興		担当者名	田部 開次	電話番号	0854-40-1052 (内線) 2392	
	目的・対象	商工業事業所(者)	意図	経営の安定・強化を図り、雇用を拡大する。				
	基本事業	〈109〉地場企業の経営支援		予 算 科 目	0:1355:0	大事業名	新型コロナウイルス感染症対策事業	
目的・対象	市内事業所	意図	経営の安定・強化を図り、売上を伸ばす。				中事業名	飲食・タクシー業消費喚起支援事業

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
対象事業者	50%のプレミアム商品券を事業者自ら販売し、消費を促すことで、販売額面以上の売り上げの増加につなげる。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)	新型コロナウイルス感染症の拡大による消費減退の影響を特に受けている飲食、タクシー業を営む事業者が自らが自店舗でのみ使用可能な50%のプレミアムのついた商品券を販売し消費喚起を促す。 一冊額面3,000円(500円×6枚)を2,000円で販売し、プレミアム分1,000円の販売冊数分を支援する。
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R4年度実績(R4年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
市内飲食業、タクシー事業者の利用増加及び消費者の消費喚起のためプレミアム分を支援し、事業に77事業者が参加した。	単年度事業なので特になし。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(計画)
ア 事業実施者数	事業者	-	-	77	-
イ					
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R4年度決算)		② コストの推移		単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)
事務費等	1,097千円	財源内訳	国庫支出金	千円			32,967	-
補助額	31,870千円		県支出金	千円				
			地方債	千円				
			その他	千円				
			一般財源	千円				
		事業費計		千円	0	0	32,967	0

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	引き続き、新型コロナ感染症に係る感染症対策や経済対策が必要であるが、本事業により特に影響を受けている事業者の売上への寄与及び市内の消費喚起が図られた。 事業者自ら販売するための営業活動を行うことで販売促進の意識の醸成につながった。
② 事業実施するうえでの課題	消費喚起としての効果は非常に高いと考えるが、継続的に誘客を行う必要がある。
③ 課題解決に向けた改革改善等	誘客に向けた営業活動や消費喚起活動を継続的に行う必要性を意識するための支援の検討。